

長江正成 活動の記録



▲小川淳也総務大臣政務官より地域主権について学習



▲昨年より民主党幹事長室へ地域の要望活動を行いました品野陶磁器センター隣接地の「道の駅」については、3月26日国土交通省発表で交付金決定しました。



◀設楽ダム予定地調査 (3月13日)

民主党調査団▶

3月30日CBC「いっぽう」で放映されました



ご案内

《県政報告会》

長江正成は、県政報告会を随時行っています。
★3人以上のグループでお申し込み下さい。
★日時・場所等はお相談のうえ、決めさせていただきます。

《長江正成通信の送付》

皆さまからの県政へのご意見やご要望をいただくために、通信を送らせていただきます。ご希望の方はご連絡ください。

《後援会加入のお願い》

皆さまの励ましやご意見によって、長江正成の活動の幅がさらに広がりますよう、後援会へのご加入をお願いいたします。
(会費はございません)

県政へのご意見、各種お問い合わせ・お申し込みは

《やまびこ会総会》

会長 加藤初江

- ★平成22年5月9日(日) 午後2時より
- ★ 瀬戸市文化センター ふれあいホール3F会議室
- ★ 会費300円
- ★ お問い合わせは事務所まで

「長江正成事務所」まで

妻の真弓が昼間事務所に常駐しています。お近くにお越の際、是非お寄り下さい。



お問い合わせは事務所まで
瀬戸市熊野町83-8
電話(0561)85-5195



愛知県議会議員

長江正成通信

愛知県政レポート

2010年4月号

<編集・発行>

愛知県議会議員

長江正成事務所
〒489-0881 瀬戸市熊野町83-8
TEL (0561)85-5195 FAX (0561)82-1375

この県政レポートは、県民のみならずご意見・ご要望をいただくための情報提供を目的に、民主党愛知県議員団に交付されている政務調査費の広報費を充当して製作・配布しています。

「確かな未来へ向けた 第一歩」

愛知県議会議員(瀬戸市選出)
なが え まさ なり
長江正成



長江正成の県政レポートをお読みいただきありがとうございます。

今回は2月19日に開会した2月議会において審議しました「確かな未来へ向けた第一歩」とタイトルづけられた平成22年度当初予算案について主にお知らせいたします。

22年度一般会計の歳入は、県税収入が前年度当初予算比で1014億円もの「減」となる8666億円平成20年度からわずか2年間で約5000億円という大幅な減収となり、一方で義務的な経費である扶助費や公債費は増加し、収支不足は2800億円にもなっています。

予算全体としては、一般会計2兆2449億余円、特別会計7216億余円、企業会計1646億余円、合計3兆1312億余円となり、新規事業としては、健康・福祉社会づくりに向けての「地域医療再生基金事業」や「あいち介護予防支援センター」の開設、多彩な交流の展開に向けての「国際子ども環境会議」や「国際ユース環境会議」の開催、「新たな教育振興基本計画」の策定、「労働総合支援事業」などがあげられています。

地域主権の時代に向け、愛知県が自立のための力をしっかりとつけていくことができるよう、予算配分やそれぞれの事業の効率性などの議論をこの2月議会で重ねました。

2007年に32年ぶりに独自の知事候補を擁立し知事選挙を実現させた民主党議員団の一員として次代の「あいちづくり」を本年度しっかりと組み立てる議論を行います。今後とも皆さまのご指導・ご支援のほど、よろしく お願いいたします。



長江正成 プロフィール 瀬戸市やまて坂一丁目在住

- 1982年：中央大学 卒業
- 2000年：瀬戸市小中学校 PTA 連絡協議会 会長
- 2007年：愛知県議会議員 初当選
- 2009年：「総務県民委員会」・「安心・安全対策特別委員会」・「議員定数等調査特別委員会」
- 「一般会計・特別会計決算特別委員会」に所属

平成22年度★当初予算案概要

「確かな未来へ向けた第一歩」と題して示された来年度の当初予算案について「平成22年度当初予算の概要」等をもとにお伝えします。

開会日に行われた神田知事からの説明では、「巨額の収支不足の解消」「国の政策や制度の変更への対応」の2つの課題への対処が予算編成において大変に難しい作業であったことが述べられました。

★ 来年度予算編成の3本の柱および施策の柱は以下のようになっています。

* AICHI * AICHI * AICHI * AICHI * AICHI * AICHI * AICHI

1. 県民の安心・安全の確保

● 中小企業対策

- ・ 経済環境適応資金の融資目標の拡大
…融資目標 2280 億円 (前年度比約 118%)

● 少子化対策

- ・ 第二次愛知県少子化対策推進基本計画の策定
- ・ 子育て支援の推進
 - ★ 保育所の整備等による保育サービスの充実
 - ★ 地域の創意工夫による子育て支援活動の支援



● 地域医療の推進

- ・ 医師確保対策…約 9.5 億円
 - ★ 救急医療・周産期医療に関する講座を設置する大学への支援や医師への処遇改善
- ・ 地域医療の救急体制支援…約 14 億円
 - ★ 救命救急センターの整備の促進
- ・ 県立城山病院整備基本設計の着手…約 7204 万円
- ・ あいち小児保健医療総合センターの小児救急医療の提供 (土曜の夜間・日曜・祝日)

● 交通安全対策

- ・ 世代間連携による高齢者の交通事故防止啓発活動の推進
…約 1217 万円
- ・ 交差点事故防止出張講座の実施
…約 684 万円
- ・ 交通安全施設の整備、改良
…約 166 億円



● 雇用対策

- ・ 「あいち労働総合支援フロア」の開設…約 2913 万円
 - ★ 労働に関するワンストップサービスを提供する場を産業労働センター17階に開設
- ・ 若年者雇用対策の拡大…約 1922 万円
- ・ 新たな雇用・就業機会の創出…約 200 億円

● 高齢者対策

- ・ あいち介護予防支援センターの設置…約 1427 万円
 - ★ 介護予防・認知症予防・高齢者虐待防止対策を専門的な立場から支援する常設機関をあいち健康プラザ内に設置
- ・ 高齢者地域見守り推進事業の創設…約 114 万円
- ・ 後期高齢者医療制度の保険料負担の増加抑制
 - ★ 財政安定化基金を積み増し、県広域連合へ交付



● 福祉医療制度の維持

- ・ 子ども医療事業費…約 97 億円
- ・ 障害者医療事業費…約 69 億円
- ・ 母子・父子家庭医療事業費…約 21 億円
- ・ 後期高齢者福祉医療給付事業費…約 59 億円
 - ★ 全国トップレベルの現行制度を維持



● 地域防犯県づくり

- ・ 「あいち地域安全新3か年戦略」に基づく取組の展開…約 9588 万円
- ・ 警察官の増員…55人
 - みんなで進めよう 安全なまちづくり



2. 2010年プロジェクトの総仕上げ

● あいちトリエンナーレ 2010 の開催

- …約 6.1 億円
- ★ 「都市の祝祭 Arts and Cities」をテーマに現代芸術や舞台芸術を展開
- 草間彌生「水玉強迫」



● 衣浦港 3号地廃棄物最終処分場の供用開始

- …約 1.2 億円
- ★ 平成 22 年度中の供用開始

3. 中長期の発展の礎となる取組の推進

《環境》

1. COP10 の開催 (再掲)
2. COP10 開催地にふさわしい先導的な取組
…約 4206 万円
 - ★ 生態系ネットワーク形成のモデル的な実施に向けた検討等
3. グリーンニューディール基金事業
…約 3.5 億円
 - ★ 公共施設の省エネ・グリーン化の推進等
4. 「あいち森と緑づくり税」事業の推進…約 22 億円
5. 衣浦港 3号地廃棄物最終処分場の供用開始 (再掲)



《文化・交流》

1. あいちトリエンナーレ 2010 の開催 (再掲)
2. 地球市民交流センターのオープン (再掲)
3. 友好提携 30 周年記念事業…約 3885 万円
 - ★ ビクトリア州・江蘇省との記念行事開催
4. 上海国際博覧会に催事参加…約 6893 万円
5. 東アジアからの誘客促進…約 270 万円

《社会基盤整備》

1. 中部国際空港二本目滑走路実現への取組…約 2582 万円
2. スーパー中核港湾名古屋港の整備促進
3. 設楽ダム建設の促進…約 37 億円
4. 地方道路公社料金引き下げ社会実験の継続…約 29 億円

● 生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) の開催…約 6.5 億円

- ★ 国連・日本政府が主催する COP10 の会議支援
- および県独自の関連事業の実施、生物多様性に配慮した地域づくりの推進



● 「地の拠点」づくりの推進…約 37 億円

(他に債務負担行為約 30 億円)

- ★ 先導的中核施設を平成 23 年度、シンクロトロン光利用施設を平成 24 年度の供用開始に向け整備

● 地球市民交流センターのオープン…約 16 億円

- ★ 愛・地球博記念公園において「環境」と「交流」をテーマに様々な体験学習を提供

《産業》

1. 地の拠点の推進 (再掲)
2. 航空宇宙産業研究開発施設の整備…約 9.2 億円
3. 産業立地促進税制 (不動産取得税の軽減措置) の延長
 - ★ 中小企業は 1/4、大企業は 1/2 に軽減
4. 新たな「食と緑の基本計画」の策定
…約 123 万円



《人づくり》

1. 総合技術高等学校の整備：基本設計…約 1 億円
 - ★ 東山工業高校敷地に専攻科を併設した工業教育の中核の学校を新設
2. 尾張地区新設知的障害養護学校の整備：実施設計…約 5852 万円
 - ★ 元平和高校敷地に新設
3. スクールカウンセラーの配置拡大
…約 5.4 億円
4. 県立高校におけるインターンシップの拡充
 - ★ 職業高校など 85 校→全日制高校 149 校



これらの予算案は、県議団で審議の後、3月25日の閉会日に採決が行われました。